

第5回 心の働きについて

2013年11月6日(水) 18:00～19:30 信州大学松本キャンパス旭総合研究棟 講義室A・B

1. 人の話を聞いて心にすっきり落ちる時と反撥したい時があるのはどうしてでしょう
2. 馬が合う人と、どうもソリが合わない人ができてくるわけは？
3. 遺伝子が伝える性格 — 生来性格 —
粘着性気質、内閉性気質、協調性気質
4. 育ててくれた人の性格が反映した性格 — 習慣性性格 —
神経性気質、自己顕示型気質
5. 同じ相手であっても、日によって(自分の気分、心理状況によって)調子の合い方が違うわけ — 交流分析法の利用 —
6. 快、不快を感じる扁桃体って聞いたことがありますか？
— この扁桃体には男性ホルモン・女性ホルモンが強く作用します —
7. A 10線維、前頭前野、自己抑制の仕組みを覚えておいて下さい
— 怒りを抑えるために —
8. アミン物質 — カテコラミン、ドーパミン、5-ハイドロキシトリプタミン(セロトニン)、ヒスタミンと意欲の関係
9. 不安と痛みとの関係 — 脳幹にあるラッフェ核 —
10. 脳神経細胞は加齢とともに減少してゆきます
— ですので年をとると抑制がききづらく、性格が先鋭化してきます —
— 涙もろくなって、気分が沈んだりもしてきます —